

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の指導について

羽島市立羽島中学校

国語

1 国語A 主として「知識」に関する問題の結果

領域毎の結果	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において全国の平均正答率をやや上回った。	
設問毎の結果	全国の平均正答率を上回った設問例	・漢字を読む（技を磨く） 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 2年〕 ・慣用句の意味を理解する 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 小学校3・4年〕
	全国の平均正答率を下回った設問例	・適切な語句を選択する。（彼はせきをきったように・・・） 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 1年〕 ・目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 2年〕

2 国語B 主として「活用」に関する問題の結果

領域毎の結果	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において全国の平均正答率を下回った。	
設問毎の結果	全国の平均正答率を上回った設問例	・質問の意図を捉える〔話すこと・聞くこと 1年〕 ・話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する。 〔話すこと・聞くこと 1年〕
	全国の平均正答率を下回った設問例	・目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く 〔書くこと 2年〕〔読むこと 1年〕 ・相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く。〔書くこと 1年〕 〔読むこと 1年〕〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 2年〕

3 今後の指導について

- ・言語活動を通して指導事項を身に付けるという指導の立場を一層重視し、単元指導計画を見直し改善する。知識を習得する時間と知識を用いて活用する時間を明確にし、思考力・判断力・表現力を身に付ける。
- ・文法の学習において、文の成分など基本的な学習内容を確実に身に付けさせるとともに、「書くこと」の指導での記述や推敲の段階で、目的に応じて、主語が明確で主述の照応の正しい文を書く力を付けるようにする。
- ・文学的な文章を読んで、感じたことや考えたことを書く際には、文章のどの言葉からそう考えたのか、根拠を明確にして書くようにする。また、「読むこと」の学習の際には、比喩や反復などの表現技法について、その効果を明らかにし、「書くこと」の学習では、伝えたい内容に応じて表現技法を効果的に用いる学習活動を設定する。
- ・短作文の書き方の基本を教え、書くことに対する苦手意識をもたせないようにする。また、「書くこと」の学習において、相手意識と目的意識を明らかにし、自分の書いた文章が相手に伝わるかどうか検討する時間を設ける。
- ・他教科の年間指導計画とすり合わせ、国語科で身に付けた言語能力を生かしたり活用したりする場を他教科や他領域に意図的に設定することで、言語能力の定着を図るようにする。また、日常生活においても場や目的に応じた適切な言葉や事実や心情を伝えるのに効果的な言葉を用いることができるよう伝える。